

本町の観光資源である大井川鐵道井川線。観光シーズンには大勢の観光客が訪れて乗車する。しかしその一方で、冬季などの閑散期には、ほとんど乗客が見られず、集客への取り組みが求められている。写真は観光客が降り立つ春の接岨峡温泉駅。

特集

スタート・ライン

協働で描くまちづくりの未来創造図

「この町の5年後、10年後に『夢』を見よう。今、自分たちにできることを考えよう」…町の未来予想図を描こうとしたある挑戦者たちの取り組みは、地域住民と手を携え、さまざまな団体とも連携して前に進み続ける未来を「予想」するためには、何より「未来を創り出そう」とする強い意志が必要だ。特集では、地域のこれからの思い描いた人たちの、そんな姿を追いながら本町ならではの「共に歩んでいこう」とする姿勢について考えてみる。今、伝えたい。協働のまちづくりのスタート・ライン